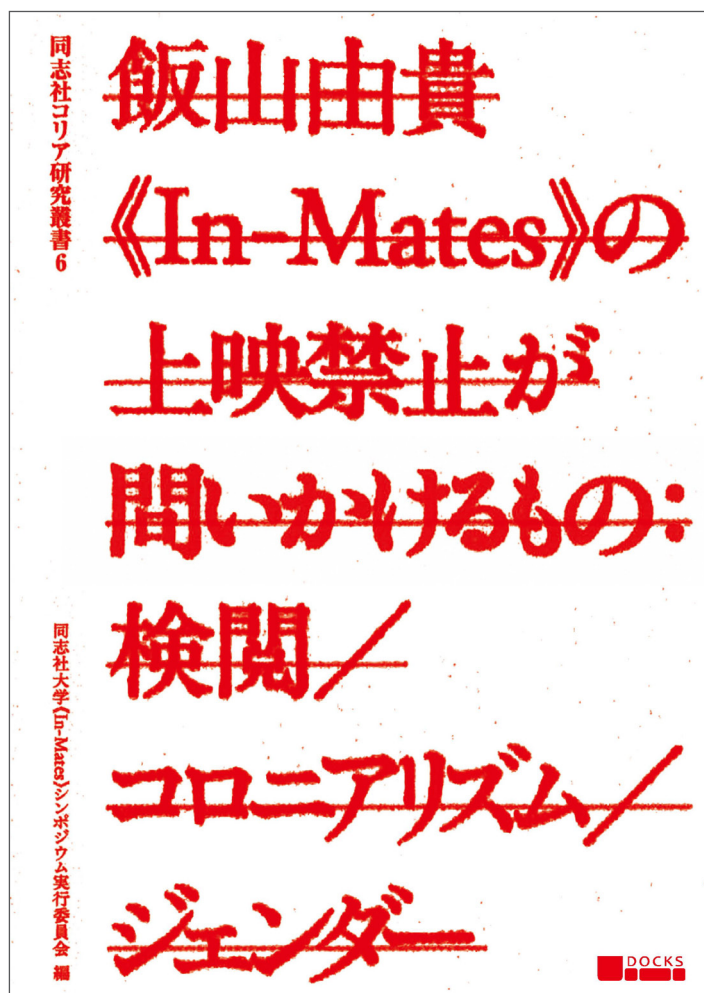


アーティスト・飯山由貴の映像《In-Mates》が、
東京都人権部によって上映禁止となった。
いったい何が起こり、私たちに何を問いかけているのか？



本書の概要：

2023年4月29日に同志社大学寒梅館ハーディーホールで行われたシンポジウムの全記録とともに、東京都人権部からの上映禁止・検閲に関する一次資料、関連情報などを掲載。非売品。

「今回の検閲事件が深刻なのは「国際」や「人権」を銘打った公的機関が、率先してコロニアリズム／レイシズムの克服に努めるどころか、それに逆行する決定をおこなった点にある。だからこれは、一つの特異なできごととしてではなく、脱植民地化と反レイシズムのための闘いと、それに対するバックラッシュという世界史的な流れのなかで捉えなければならない。」

(板垣竜太「あとがき」から)

内容：

第1部：シンポジウム「飯山由貴《In-Mates》の上映禁止が問いかけるもの：検閲／コロニアリズム／ジェンダー」の全記録

(飯山由貴・FUNI・板垣竜太・鄭暎恵・菅野優香・北原恵)

第2部：《In-Mates》上映禁止をめぐる資料

(経緯と概要・一次資料・年表・参考文献・字幕ほか)



電子版の無料公開ページへは左のQRコードからアクセスできます。
(URL：<https://do-cks.net/works/publication/korea06/>)

出版情報：

タイトル：『飯山由貴《In-Mates》の上映禁止が問いかけるもの：
検閲／コロニアリズム／ジェンダー』（同志社大学研究叢書6）

編者：同志社大学《In-Mates》シンポジウム実行委員会編

発行日：2025年3月1日

表紙・字幕頁デザイン：尾中俊介(Calamari Inc.)

発行者：

同志社大学研究センター

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入

<https://do-cks.net/>

e-mail: rc-korea@mail.doshisha.ac.jp

お問い合わせ先：

同志社大学《In-Mates》シンポジウム実行委員会

inmates2023@gmail.com